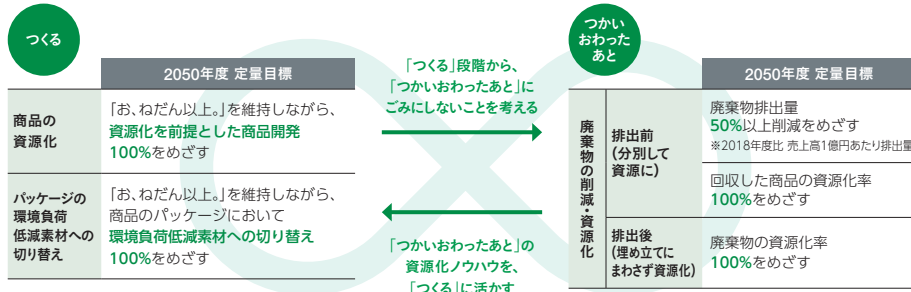


サーキュラー(循環)ビジネスの推進

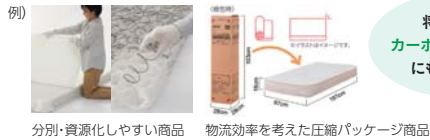
ニトリグループは製造物IT/小売業という独自のビジネスモデルを持ち、「つくる」段階から「つかいおわたあと」までを見据えたサーキュラー(循環)ビジネスを推進しています。「つくる」段階では、将来的な資源化を前提とした商品開発を行い、ごみにしないことを考えたものづくりを目指しています。更に、「つかいおわたあと」の商品の分別・資源化ノウハウを「つくる」段階に活かすことで、一連のつながったビジネスモデルを通じて、循環型社会の実現に向けた取り組みを進めています。

サーキュラー(循環)ビジネス推進の全体像



ものづくりに活かす

- 設計段階から分別、資源化を前提とした商品
- 設計段階から物流効率を考えた商品



将来的には
カーボンニュートラル
にも大きく寄与

ノウハウの蓄積

- どんな構造であれば「分別」できる?
- どんな素材であれば「資源化」できる?



商品の資源化

再資源化を見据えた商品開発(かんたん分別マットレス)や、回収商品の再製品化(再生羽毛布団)をはじめ、リサイクル原材料を使用する等、限りある資源を守る取り組みを推進しています。

主な取り組み事例



パッケージの環境負荷低減素材への切り替え

環境負荷の高いプラスチック系の梱包資材(緩衝材やパッケージ等)について、「プラスチック製の素材を無くす・減らす・変える」という軸で見直しを実施しています。その上で、素材名や材質記号を表示し、ごみではなく資源にまわしやすい状態を目指しています。

2050年度 目標	主な取り組み内容	主な取り組み事例
「お、ねだん以上。」を維持しながら、商品のパッケージにおいて環境負荷低減素材への切り替え100%をめざす	<ul style="list-style-type: none"> ポリプロピレン(PP)など、石油由来の素材の削減 パッケージ自体の廃止 過剰高機能/パッケージの廃止、簡素化 パッケージサイズや厚みの縮小化、重量の軽量化 プラスチックに変わる新素材の使用(紙・植物由来・布など) 	<p>プラスチック製の素材について、</p> <p>① 無くす プラスチック製 梱包装 → 紙製のヘッダーのみに変更</p> <p>② 減らす スリッパのハンガーを小型のロックに変更し、石油由来素材の使用量削減</p> <p>③ 変える 複層のプラスチック製パッケージ → 紐+紙製台紙へ切り替え</p>

廃棄物の削減・資源化 ~廃棄時の分別の推進~

廃棄段階での分別を推進し、ごみではなく資源にまわすことで、廃棄量や廃棄コストの削減につなげるとともに、限りある資源を有効活用しています。一部の物流拠点では、分別困難なベッドマットレスを自前で細かく解体・分別し、金属などの再生可能なものは資源にまわしています。2024年度は更に拠点を拡大し、今後も資源循環の取り組みを一層強化していきます。



廃棄物の削減・資源化 ~商品のリサイクル回収~

お客様のお困りごとに寄り添うと同時に、限りある資源を守るため、販売元にかかわらずリサイクル回収を推進しています。カーテンに続き、2025年6月よりタオルについても回収の常時受付を開始いたしました。



<p>カーテン回収</p> <p>※2022年度～2024年度までの累計実績(全店舗)</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加客数: 約42.2万人 回収重量: 約1,683t 	<p>羽毛布団回収</p> <p>※2022年度～2024年度までの累計実績(全店舗)</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加客数: 約8万人 回収枚数: 約11.5万枚 	<p>タオル回収</p> <p>※2023年度～2024年度までの累計実績(全店舗)</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加客数: 約2.4万人 回収重量: 約32.5t
---	--	--